

戦後80年

特別展

|主催| (公財) 横浜市ふるさと歴史財団(横浜都市発展記念館・横浜開港資料館) |共催| 横浜市教育委員会 |後援| 横浜市国際局／朝日新聞横浜総局／神奈川新聞社／東京新聞横浜支局／日本経済新聞社横浜支局／毎日新聞社横浜支局／読売新聞横浜支局／産経新聞社横浜総局／NHK横浜放送局／tvk／FMヨコハマ |協力| 横浜市史資料室／横浜ユーラシア文化館

2025(令和7).7.19(土)―9.28(日)

|開館時間| 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

|休館日| 毎週月曜日(月曜が祝休日の場合は開館し、翌平日が休館)

|観覧料| 一般 800円、横浜市内在住65歳以上・小中学生 400円

この料金が当館常設展および横浜ユーラシア文化館もご覧いただけます。

「身体障害者手帳」などをお持ちの方は無料です。入館の際に手帳をご提示ください。

毎週土曜日は小中学生・高校生・大学生は無料です。



横浜都市発展記念館
Museum of Yokohama Urban History

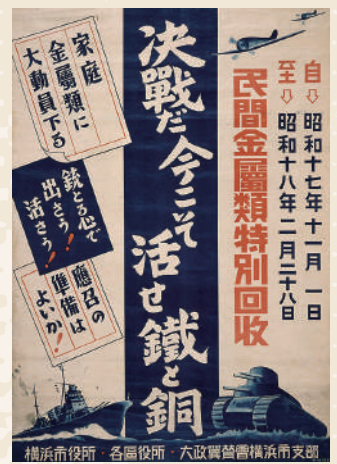
〒231-0021 横浜市中区日本大通12 Tel. 045-663-2424

戦中・戦後を生きた横浜の人びと



戦争の記憶

2025年(令和7)は戦後80年の節目の年に当たります。昭和戦前・戦中期の日本は対外戦争を継続し、1945年(昭和20)に敗戦を迎えます。この時期の戦争は国家総力戦という形式で行われたため、国内のあらゆる物資や人的資源は戦争のために総動員されることになり、市民生活に大きな影響を与えました。また、多くの市民が兵士として戦場に赴いたほか、第二次世界大戦末期には大規模な都市への無差別空襲により、多数の市民が死傷する悲劇が生じました。本展示では、横浜市民が受けた戦争の影響や空襲被害の実相を資料や証言記録から紹介するほか、戦後占領期も継続した戦争被害の実態についても、子どもたちの被害に焦点を当てて紹介します。戦後80年を迎え、戦中・戦後の記憶は徐々に薄れつつありますが、戦争が一般の市民にもたらす惨禍について、改めて考えるきっかけとなれば幸いです。



展示構成

●序章 市内に残る戦時資料

●第1章 国家総力戦体制下の横浜

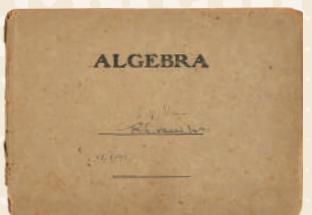
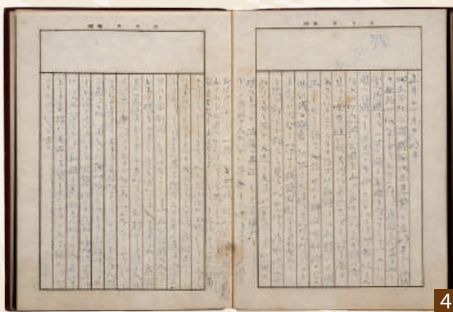
1-1.戦時体制の実相を伝える山室家資料／1-2.兵士となった横浜市民／1-3.戦時体制下の学校
1-4.集団学童疎開体験者の記録／1-5.外国籍を持つ横浜市民の戦時生活

●第2章 資料が語る横浜の空襲被害

2-1.空襲を記録した写真・絵画／2-2.横浜中央電話局員の空襲体験記録
2-3.横浜大空襲に加わったB29爆撃機搭乗員の資料／2-4.空襲の記憶を伝える人々

●第3章 戦後も続く子どもたちの戦争被害

3-1.戦後横浜の児童養護施策／3-2.横浜の戦争孤児を保護した唐池学園
3-3.「GIベビー」を保護した聖母愛児園／3-4.聖母愛児園分園ファチマの聖母少年の町の記録(4階常設展示室)



- 1 横浜市が発行した戦時期のポスター 山室宗作氏蔵
- 2 英国人青年、シディングハム・イースト・デュアの抑留日記 出羽仁氏蔵
- 3 南吉田国民学校集団疎開児童写真 1944年(昭和19)頃 宮崎久郎氏蔵
- 4 横浜中央電話局に勤務していた平井富貴子氏の空襲日記 1945年(昭和20) 福岡義晴氏蔵
- 5 横浜で「Gイベリ」として育った青木ロバート氏と妹マリー氏 昭和20年代 青木ロバート氏蔵
- 6 戦争孤児を保護した唐池学園の子どもたち 昭和20年代初期 (福)唐池学園蔵

横浜都市発展記念館 Museum of Yokohama Urban History

〒231-0021 横浜市中区日本大通12 Tel.045-663-2424



アクセス

- みなとみらい線日本大通り駅(3番出口)0分
- 横浜市営地下鉄ブルーライン関内駅(1番出口)から徒歩約10分
- JR京浜東北・根岸線関内駅(南口)から徒歩約10分
- 横浜市営バス「日本大通り駅県庁前」から徒歩1分

展示解説

展示担当者が見どころを解説します。

日時：8月3日(日)、11日(月・祝)、15日(金)、31日(日)
9月14日(日)、23日(火・祝)、27日(土)、28日(日)
14時～(各回45分程度)

参加費：特別展観覧料が必要です

関連記念講演会「当事者が語る『GIベビー』の記憶」

講演者：青木ロバート氏（聖母愛児園分園ファチマの聖母少年の町卒園生）

日時：2025年9月15日（月・祝） 14時～15時30分（開場13時30分）

会場：横浜情報文化センター 6F 情文ホール

定員：先着200名 参加費：1,000円

申込方法：横浜都市発展記念館イベント申し込み
ページよりお申し込みください(右記QRコードまたは
<https://teket.jp/11314/50698>)

※関連記念講演会は有料のアーカイブ配信も行います。(購入方法など詳細は追って当館公式ウェブサイトでお知らせします)



関連展示「動画公開」 当事者が語る戦争被害」の開催

特別展に関する当事者の証言映像記録を公開します。

会期：2025年7月19日(土)～9月28日(日)

会場：横浜都市発展記念館1Fギャラリー

入場無料

展示預告 次回特別展

「戦後80年 戦争の記憶—遺跡・景観・モニュメント—」(仮)

会期：2026年1月24日(土)～4月12日(日)

会場：横浜都市発展記念館

チラシ表面資料

画面上部資料：横山清治画「戦災画譜」より、緑ヶ丘の西洋館跡【左上】、吉浜橋
付近に沈む船【中央】、桜木町駅前の避難民【右上】 1945年(昭和20) 当館蔵
横山慶子氏寄贈

画面下部資料：聖母愛児園分園ファチマの聖母少年の町の子どもたち 昭和30年代 当館蔵 ファチマの聖母少年の町卒園生寄贈